

# 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年4月5日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691200374
法人名	医療法人 春成会
事業所名	グループホーム うのき
所在地	鹿児島県霧島市国分中央三丁目19番8号 (電話) 0995-48-6480
自己評価作成日	平成26年2月17日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・のんびりとした雰囲気の中で安心して生活ができるように心掛けています。
- ・各居室にトイレを設置し、プライバシーに配慮し、また広々とした居室でゆったりと過ごして頂けます。
- ・医療機関に隣接しており急変時等にも迅速に対応致します。
- ・併設している様々な事業所の利用者と行事等での交流があります。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成26年3月18日

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は医療法人グループの一つで、同じ建物内に、同系列の小規模多機能やデイサービスなどの事業所があり母体医療機関も隣接している。災害時の協力関係も構築されている。緊急時の対応などの医療のバックアップ態勢が整っている。
- ・周囲には大型店舗や銀行・市庁舎・警察署などがあり利便性が高く、散歩や買い物の際には多くの人とふれあいながら生活できる環境にある。
- ・地域の行事に積極的に参加し、小規模多機能ホームと合同の行事には、多くの地域住民が参加するなど、日常的に地域と交流している。
- ・多目的ホールを開放して認知症の相談も受け、認知症対策や介護支援の情報発信の場となっている。
- ・各居室に洗面台やトイレがあり、利用者の尊厳やプライバシーに配慮しながらより良いケアに努めている。
- ・管理者は職員育成に力を入れ、各種研修への出席も奨励して職員の働く意欲を引き出している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	法人全体の理念を掲げ、月1回の職員会議で唱和することで意識するようにしている。	理念を掲げ、職員会議で唱和して意識づけしている。理念が一人ひとりの日常のケアに反映しているか職員間での申し送り帳等も活用して振り返り、実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	開設2年目となり、地域の各種催しものへの参加や地域の方と一緒に季節の行事等を少しずつ実施している。	地域の各種行事の夏祭りなどに積極的に参加したり、同系列のデイサービスや小規模多機能ホーム・高齢者住宅利用者の合同で、餅つきやがねづくり等、住民も参加している。地域住民に多目的ホールを提供し、踊りの練習を見たり、踊ったり、手拍子したり地域の一員として日常的に交流している。老人会への参加や木市等にも、見物に行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議や地域の方の集いの場で認知症の説明や理解を求めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>入居者状況や活動報告するとともに、地域住民との関わりを広げていくための話し合いを行っている。また地域住民や家族の意見を参考にして進めている。</p>	<p>会議は定期的開催している。事業所の状況や外部評価結果報告・地域の催し・季節の行事などを議題にして取り組んでいる。子ども会との交流や避難訓練関係・高齢者との交流等の提案があり、サービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>市の催しや勉強会、講習会に参加し情報を得るようにしており、また日頃より相談をすることで協力関係を築くようにしている。</p>	<p>市担当者とは電話や訪問で連携を取り合い情報を交換し、アドバイスを貰っている。運営推進会議を通して協力関係もできている。市主催のグループホーム連絡会など研修会にも積極的に参加し、協力関係を築いている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束に関しての勉強会を開催し、基本的な考え方をスタッフで共有している。</p>	<p>法人で身体拘束廃止委員会が設置されて、定期的な勉強会を実施し、身体拘束をしないケアを実践している。日中は玄関の施錠はせずに、職員の見守りで自由な暮らしを支援している。マニュアルを使ってスタッフ全員が、基本的な考え方を共有し、言葉による拘束にも気をつけている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>高齢者の尊厳に関する勉強会を開催することで、日頃の自分達の仕事を見直し、今後のケアに活かせる機会を設けている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>制度に関することに関しては、今後の研修項目に加えていくところである。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>まずは契約前に事業所を直に見学頂き、大まかな説明から行っている。契約の際にはある程度ご理解頂いたうえで詳細を説明し最終確認を行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>担当者会議では本人、家族の要望をまずは聞くようにしている。また入居者によっても差はあるが、日頃の訪問機会は多く、その際にお茶を出す等して話をする場を設けたりしている。運営推進会議にも多くの家族に参加頂いている。</p>	<p>利用者からは日々の生活の中で意見や要望を聞いている。家族からは、家族の訪問が多いので、お茶を出して話しやすい雰囲気を作って聞いたり、行事参加時・運営推進会議時に意見や要望を出してもらおう工夫をしている。ケアプラン作成時、利用者や家族から要望を聞いている。出された意見や要望等は職員で話し合い運営に反映させている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>運営に関する意見については、その都度職員からの意見を聞き、必要に応じて対応している。</p>	<p>管理者は日頃から職員とのコミュニケーションを図り、申し送りやミーティング時に意見や要望を聞く機会を設け、反映を図るよう心がけている。相談事は個別に聞き、適切にアドバイスをしている。ケアについての意見が多く、認知症についての対応や基本的技術の事などで、運営に反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>月の休日はしっかりと取れるように勤務を組み、できる限りの希望する休みを取れるように配慮している。年2回の自己評価を実施することで昇給等に反映させている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>月に1～2回の法人内の勉強会を開催するとともに、外部開催研修案内も行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域の連合会に加入し、勉強会や活動に参加している。また外部の研修会に参加することで個々のスキルアップ、交流にもつなげている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用前に本人の要望を直接聞くこととしている。聞き取りが困難な場合は家族から聞き取りを行っている。利用後は安心できるように声掛け等を密にしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用者の要望はもちろんのこと、家族の要望を聞き取ることとしている。また利用者本人だけでなく、家族の健康状態や家族状況等を聞き取ることによって関係作りを図るように心掛けている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	まずは利用者が今どういう状況なのかを今までの生活状況踏まえて聞き取ること、判断している。グループホームとはどういう所かをしっかりと理解いただく為に説明を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒にお茶を飲み、一緒に洗濯物をたたんだりする場を持つことで利用者に寄り添えるよう心掛けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の訪問は個人差はあるものの多く、訪問時は居室やフロアで一緒にお茶をお出しし寄り添って頂いている。また食事介助や外出機会も協力頂いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	少ないながらも家族を通じて親戚やお友達の訪問もして頂いている。	親族や友人・知人の訪問の際には、居室を開放してお茶を出して話しやすい雰囲気を作り、継続的關係が途切れないよう対応している。行きつけの手芸店に買い物に行ったり、理美容師の出張訪問もある。多機能ホームやデイサービス・高齢者住宅利用者との合同のイベントで友人に出合ったり、家族の協力を得て継続支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	会話が困難な場合はスタッフが間に入り、意思疎通の橋渡しに心掛けている。またソファ等に寄り添う場を持てるようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後もその後の利用機関と情報交換を行っている。状況に応じてその後の再入居の支援にも努めていく。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの意向や希望は家族からの聞き取りと合わせて把握するように心掛けているが、困難な場合は行動や言動を尊重しながら対応している。	一人ひとりの生活歴や習慣を大切にし、表情や言動等から思いや意向を汲み取るように心がけている。意思疎通が困難な場合は、家族が訪問した時、思いや意向を聞いている。馴染みの友人知人からも情報を得て職員で共有し、本人本位の支援を心がけている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の情報を把握することはもちろん、日頃の会話や家族からの情報等で更にその方の生活歴を知ることにも努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ホームの流れはあるが、一人ひとりの状態に合わせた支援に努めている。また日々の状況を把握し、その時に合わせた支援を心掛けている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月2回のスタッフミーティングにより少しずつではあるが一人ひとりの対処方法を話し合っている。家族との面会時には居室で話しやすい雰囲気で見聞けるように心掛けている。	本人や家族の意向を確認し職員全員で話し合い、医師の意見やアドバイス等を取り入れ、個々に応じた介護計画を作成している。3ヶ月毎にモニタリングを実施し、6ヶ月毎に見直している。状況が変化したときは現状に即した介護計画を作成している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子はケア記録に記載し、排泄、食事、水分チェックはそれぞれで記録し共有している。その中で変化に気づき、その都度対応している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	柔軟な支援やサービスの多機能化に関しては今後の課題である。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議等で少しずつ地域との関わりは出てきているがまだまだこれからである。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期的な受診だけでなく、突発的の事に関してもすぐに相談できる体制をとっており、早めに対応できるように心掛けている。	本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を事業所で対応している。協力医療機関から、毎朝医師の訪問がある。緊急時の対応などの連携を取りながら適切な医療に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>病状変化等に関しては看護師と連携をとりながら情報交換している。またかかりつけ医にも常に状況報告することで適切に対応できるように支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>医療機関が隣接していることもあり、急変時には早急に対応できている。また情報を共有すること、また訪問することで安心して治療できるように支援している。病状の把握にも努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>隣接する医療機関と連携をとりながらではあるが、重度化した場合等の対応に関しては、事業所でできることを今後明確化させていく必要がある。</p>	<p>契約時に、重度化や終末期に際して事業所が取り得る対応を本人や家族に説明している。状況変化に伴い、その都度本人や家族の意向を確認し、隣接の医療機関と連携して、法人全体で取り組んでいる。職員は共有して、支援に取り組むようにしている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>観察する視点や重要性を学ぶとともに、急変時の医療機関との連絡体制を構築している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署指導の下、避難訓練は隣接の医療機関と合同で行っているが全職員が自信をもって行動できるように更に取組みが必要。災害時に備え、備蓄品を配備している。地震時や水害時の訓練に関してはまだまだ不十分である。	年2回消防署の指導のもと、昼夜間想定避難訓練を同じ建物内の事業所や隣接する医療機関と合同で実施している。各事業所間の協力体制もできている。防火扉・消火器・非常灯・火災報知機・コンセントなど定期点検をしている。スプリンクラーも設置されている。近隣居住の事業所職員との協力体制もできおり、災害時の水や食料等の備蓄もある。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩として声掛けには十分注意している。失禁の時は周りに配慮しながら声掛けを行っている。	日々のケアの中で、人格やプライバシーを損ねず、人としての尊厳を保てる言葉かけや対応に留意している。外部研修に参加したり、スタッフ会議や勉強会を持ち、研修の場としている。個人記録等の取扱いにも十分配慮している。排泄や入浴時の誘導の声かけや言葉の拘束など気をつけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	表情や行動等でも読み取れるように心掛けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのその日の体調に合わせて、起床時間や休息など臨機応変に対応している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	居室の洗面所には大きな鏡があり髪の毛等を整えられるようにしてある。また居室にはクローゼットもあり様々な洋服を用意されている方もいる。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は厨房で作っており様々なメニューで対応している。また季節や行事に関する食事でも楽しんで頂いている。メニューの案内をすることで楽しみを持って頂いている。	嗜好調査を行い、嗜好に配慮したバランスの取れた献立を栄養士が作っている。おやつ作りや配膳・下膳を職員と一緒にしている。行事食や外食など、食事が楽しみなものになるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスは管理栄養士の基確保されている。水分量も適時チェックしながら一日通して確保できるように心掛けている。またなるべくおいしく飲んでいただけるように配慮している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	各居室の洗面所にて、各自清潔にうがいや義歯洗浄できる環境になっている。夜間は義歯は外し、水や薬剤に漬けて清潔を保っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	定期的な誘導やその方の表情、パターン、サイン等を観察することで排泄の支援を個々に行っている。	個々人の表情や排泄パターンを把握し自尊心に配慮しながらトイレでの排泄を大切にしている。食物繊維の多い食材や乳製品などで食生活を工夫し、自然排便と排泄の自立を支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分が十分摂れるように、味や形態を工夫することや、乳製品等を個々に応じて提供しているが運動に関してはまだ不十分である。また必要に応じてかかりつけ医と相談しながら下剤等で調整している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週3回の入浴を基本としているが、体調や希望に応じてその都度対応するように心掛けている。夜間に行っていないが、午前、午後の希望を聞き入れるように心掛けている。	基本的には週3回であるが、個々人の体調や希望に添った入浴ができるように支援している。入浴時間は、午前・午後と好きな時間帯を選らび、個々に応じた入浴支援をしている。入浴をいやがる利用者には、足浴や声かけなどで状況改善し、入浴を楽しめるように工夫している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している	いつでも自室で休めるように環 境を整えている。本人の要望や 夜間の睡眠状況を把握し、その 都度昼間の休息にも配慮してい る。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的 や副作用、用法や用量について理 解しており、服薬の支援と症状の 変化の確認に努めている	薬の説明書をファイルし、いつ でも確認できるようにしてい る。変更等があった場合にも申 し送り確認している。また症状 改善見られない場合等はかかり つけ医に相談している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ご せるように、一人ひとりの生活暦 や力を活かした役割、嗜好品、楽 しみごと、気分転換等の支援をし ている	季節毎の催しを企画し、楽しみ や季節感を感じて頂くようにし ている。また可能な限り、今ま での趣味が出来るような支援を している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそっ て、戸外に出かけられるように支 援に努めている。また、普段は行 けないような場所でも、本人の 希望を把握し、家族や地域の人 々と協力しながら出かけられる ように支援している。	季節毎では外出の計画をたて実 施している。家族の状況にもよ るが定期的な家族と外出機会を 設けている方もいる。	日常的に近隣の散歩や買い物、 ドライブに出かけている。季節 ごとに計画を立てて、花見や高 千穂牧場等にも出かけている。 家族の協力を得て墓参りや外 食・買い物等に出かけている。 車椅子の利用者も外出支援を 行っている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金の所持を制限していることはないが、現在の利用者では自ら所持し、買い物等で使用する機会は少ない。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話、手紙の支援は現在行えていないが、家族からの定期的な絵手紙などを本人が分かりやすいように工夫したりしている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>温度や湿度管理を行い快適に過ごせる空間作りに努めている。毎月のカレンダーでは季節の貼り絵を一緒に作成しフロアに掲示。また季節感のあるもの（折り紙での季節の花等）を掲示することで、季節を感じて頂いている。</p>	<p>フロアは広々として、温度や湿度が管理され、換気や採光に配慮し、掃除も行き届いて清潔である。手作りのカレンダーや利用者の作品が掲示されている。座り心地の良いソファが置かれ畳のコーナーもある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>フロア以外にも畳部屋があり、くつろげる場所を用意してる。またソファもあり、食事席以外での一人、または少人数で寄り添える場を設けている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人、家族には入居時に説明することで、家族の写真や趣味での創作物などを飾る方も増えている。</p>	<p>居室は広くトイレや洗面台・収納スペースがある。本人や家族と相談しながら、テレビやラジオ・家族の写真などが持ち込まれ、居心地よく過ごせるような工夫がしてある。入り口にはブザーがある。思い思いの部屋づくりがされている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>各居室に分かりやすいように表札を掲示することで、出来るだけ自ら自室が分かるようにしている。また必要な方にはトイレも同様に掲示している。</p>		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない